2302

平成31年度　学校教育相談課題別選択研修　実施要項

１　目　　的　　　教育相談の今日的課題や実践的な理論と技法を習得するとともに、地域や関係機関との連携の在り方など幅広い知見の習得を図る。

２　対 象 者　　　小･中学校及び義務教育学校、府立高等学校（岸和田市立の定時制の課程含む）、府立支援学校）の教職員　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　募集人数　Ａ　　　　　　　　　20名

Ｂ～Ｆ　各80名

**７月23日（火）に変更して実施します。**

３　研修内容等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 回 | 日　　時 | 研　修　内　容 | 講　師　等 |
| Ａ | ７月24日（水）14:00～17:00 | 児童福祉施設に学ぶ－大阪府立子どもライフサポートセンター－〔講義・施設見学〕　 | 大阪府立子どもライフサポートセンター職員等 |
| Ｂ | ７月31日（水）９:30～12:30 | SNSをめぐる子どもの現状と課題〔講義・協議〕　 | 政策企画部　青少年・地域安全室青少年課職員関西カウンセリングセンター　職員大阪府教育センター　指導主事等 |
| Ｃ | ７月31日（水）14:00～17:00 | 非行問題の理解と対応〔講義・実習〕 | 　立命館大学　　教授　森久　智江 |
| Ｄ | ８月１日（木）９:30～12:30 | 精神的問題の理解〔講義・講義〕 | 大阪府こころの健康総合センター　医師・職員等 |
| Ｅ | ８月１日（木）14:00～17:00 | 発達に課題のある子どもへの支援〔講義・実習〕 | 武庫川女子大学　　教授　新澤　伸子 |
| Ｆ | ８月２日（金）14:00～17:00 | 子どもの貧困をめぐって－コミュニティソーシャルワーカーの実践から－〔講義・実習〕  | 豊中市社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカー　勝部　麗子 |

※留意点

　　　希望する回を選択して受講できます。受講者推薦名簿又はＳＳＣの「研修申込・確認」画面の備考欄（コ

メント欄）に希望する回を記入してください。（なお、申し込み多数の場合は受講可否決定の参考にします

ので優先順位を付けてください。例：例：第１希望○、第２希望○…）

４　会　　場　　Ａ　大阪府立子どもライフサポートセンター（堺市南区城山台５－１－５）

|  |
| --- |
| 泉北高速鉄道「光明池」下車、南へ約1,100ｍ |

Ｂ～Ｆ　大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田４丁目13番23号　電話 06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700ｍ

ＪＲ阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400ｍ

近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700ｍ

５　担 当 室　　教育相談室

６　そ の 他　　(1) 受付は30分前から

(2) 印鑑を持参すること

(3) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること

(4) 自家用自動車・バイク等で来所しないこと

一括募集２

平成31年度　研修のシラバス

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １．研 修 名 | 学校教育相談課題別選択研修（研修番号2302）　 | OSAKA教職スタンダード |
| 共通の指標 | 第１期 | 第２期 | 第３期 | 第４期 |
| ２．目　　的 | 　教育相談の今日的課題や実践的な理論と技法を習得するとともに、地域や関係機関との連携の在り方など幅広い知見の習得を図る。 | Ⅰ | １ |  |  |  |  |
| ２ |  | 〇 |  |  |
| ３ |  | 〇 |  |  |
| Ⅱ | ４ |  |  |  |  |
| ５ |  |  |  |  |
| ６ |  |  |  |  |
| Ⅲ | ７ |  |  |  |  |
| ８ |  |  |  |  |
| ９ |  |  |  |  |
| Ⅳ | 10 |  |  |  |  |
| 11 |  |  |  |  |
| 12 |  |  |  |  |
| Ⅴ | 13 |  | 〇 |  |  |
| 14 |  | 〇 |  |  |
| 15 |  | 〇 |  |  |

３．研修課題とねらい等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 回 | 研修課題 | ねらい | 内　容 | 準備物・事前課題 |
| Ａ | 児童福祉施設に学ぶ－大阪府立子どもライフサポートセンター－ | 社会的養護の必要な高校生年齢の自立に向けた支援について学ぶ。 | ・施設の概要や入所に至る経緯などについて理解する。・施設見学を通して、入所生活の様子や支援の方法などについて理解する。 |  |
| Ｂ | SNSをめぐる子どもの現状と課題 | 子どもが使用するSNSの現状と危険性について理解し適切な指導方法について学ぶ。 | ・自画撮り被害について理解を深める。・LINEを活用した教育相談の事例を通してSNSをめぐる現状と課題について理解を深める。 |  |
| Ｃ | 非行問題の理解と対応 | 非行問題を起こす子どもへの理解と対応の在り方について学ぶ。 | ・非行問題の状況とその背景や要因について理解する。・非行問題を起こす子どもへの指導の中で必要な配慮や支援の在り方について理解する。 |  |
| Ｄ | 精神的問題の理解 | 精神疾患についての知識や、児童生徒への関わり方などについて学ぶ。 | ・精神疾患についての基礎的・基本的な知識について理解する。・精神疾患を抱えた児童生徒との関わり方、児童生徒を医療機関につなぐ判断のしかたや連携の在り方などについて理解を深める。 |  |
| Ｅ | 発達に課題のある子どもへの支援 | 発達に課題のある子どもについて理解し、適切な関わりについて学ぶ。 | ・発達に課題のある子どもの認知面や行動面について理解する。・学校において必要な配慮や支援の在り方について、また関係機関等との連携の重要性について理解する。 |  |
| Ｆ | 子どもの貧困をめぐって－コミュニティソーシャルワーカーの実践から－ | コミュニティソーシャルワーカーの活動や関係諸機関との連携について学ぶ。 | ・コミュニティソーシャルワーカーの活動について理解する。・事例による演習等を通して、教育相談におけるソーシャルワークの必要性、学校と関係機関等との連携やネットワーク構築の重要性などについて理解する。 |  |